

会 議 の 概 要

1 会 議 名	令和6年度第1回宝塚市社会教育委員の会議
2 開 催 日 時	令和6年4月9日（火）10時00分～11時10分
3 開 催 場 所	宝塚市役所 研修室
4 出 席 委 員 [■出席 □欠席]	□木下委員 □筒井委員 □林委員 □石井委員 ■大西委員 ■温井委員 ■阜月委員 ■西本委員 ■種村委員 □寺澤委員 ■湯浅委員
5 傍 聴 者 数	0 人
6 公 開 の 可 否	■ 可 □ 不可 □一部不可
7 議 題 及 び 結 果 の 概 要	<p>◆議題</p> <p>(1) 宝塚市立宝塚自然の家指定管理者制度導入後の検証</p> <p>◆報告</p> <p>(1) 令和5年度阪神北地区社会教育委員協議会 第2回研修会について</p> <p>(2) 令和5年度阪神北地区社会教育委員協議会 第4回理事会について</p> <p>(3) 令和6年度阪神北地区及び兵庫県社会教育委員協議会 日程等（予定）について</p>

令和6年度第1回宝塚市社会教育委員の会議 議事要旨

1 委員の交代及び組織改正に伴う事務局の体制について報告

2 議題

(1) 宝塚市立宝塚自然の家指定管理者制度導入後の検証

(事務局)

意見書の冒頭で社会教育施設としての意義を追記してはどうかと考えているためそのあたりのご意見もいただきたい。また、閉所していたが令和4年度から指定管理者による管理運営に至った経緯などを追記したいと考えている。

(委員)

この施設の管理運営についての評価はどうしているのか。

(事務局)

事務事業評価とモニタリング評価で行っている。どちらも市ホームページにて公開している。

(委員)

どの程度の人が閲覧しているのか。課題や評価を共有し、事務局だけで考えるのではなくこの場でも考えていくことが大切だと思う。

(事務局)

令和4年度の事務事業評価及びモニタリング評価を本日の追加資料として配布する。

(副議長)

現在は便利なもので溢れているが、不便であることの利益、「不便益」について注目が集まりつつあると感じている。不便であることが、宝塚自然の家の魅力だと思う。

(委員)

意見書のポイントとしては2つあり、1つは老朽化した施設が解体できるのか。もう1つはこの施設へのアクセスの課題だと思う。ただこの2つは指定管理者だけではなく行政の協力も必要だと思う。

(事務局)

施設の解体については、市で検討中である。

(委員)

宝塚自然の家で実施している様々な事業について、広報が必要だと感じる。認知度はどの程度か把握しているのか。

(事務局)

広報誌等で周知を行っている。一例ではあるが、昨年度実施した事業について、定員に対して10倍の申込み者数があったことから、広く認知いただいていると考える。

(副議長)

指定管理者として情報発信をしていると思うが、受け手の興味の有無によって情報を受け取るかどうかが変わってくると思う。

(委員)

利用者全体の内、市民の利用はどのくらいなのか。

(事務局)

集計はしていないが、施設利用としては、市民が多い。イベントでは他市からの参加者も多い。広報については、意見書にも記載している通り、現在は子どもを対象に自然体験を実施していることが多いが、今後は大人向けの事業実施、情報発信が必要だと認識している。

(議長)

10倍の申込みがあったということは、この施設がなくなると利用者は困ってしまうと思う。むしろ参加の機会を増やしてほしいのでは。そういったことを意見書に盛り込めたらいいと思う。現在様々な市が教育に力を入れているので、より整備できれば。

(委員)

モニタリング評価の中で、緊急対応についてB評価にしているが理由は何か。

(事務局)

警報装置のエラーが起き、緊急時の連絡体制など一部改善が望ましいことからB評価としている。

(議長)

「不利益」の話があったが重要だと思う。経験を積むことが大切だと考える。

(副議長)

効率で評価してきた流れがある。例えば、伝統芸や工芸などは公で守って伝えていかなければ、評価だけでなくしてしまうのはどうなのかと感じている。野外施設も閉鎖などで減ってきている。利用者が少ないからといってやめるのではなく、大切にしてほしい。天体観測など自然体験ができるという広報はまだまだ可能性があると感じる。次の世代へ伝えていけるように、費用をかけずに残せる方法を考えていきたい。

(委員)

意見書の中でクラウドファンディングという言葉が急に出てくる印象を持った。何かイメージがあってこの言葉を入れていると思うので、そのあたりを記載してほうが分かりやすいと思う。

(事務局)

前回の会議で交通アクセスの課題について議論した際に、いただいた意見である。指定管理者でバスを所有するなど交通アクセスが有益になるための費用を集める手法の1つとして記載している。クラウドファンディングには関心度を測る指標となる可能性があると考えている。追記については検討させていただく。

(議長)

湿原があり環境を守っていくことが重要だと思う。まずは見ていただくことが大切。

(委員)

令和5年度の利用者数はどれくらいなのか。

(事務局)

令和4年度を少し上回るくらい。

(委員)

冬期は休所し、宿泊がなく、不便なアクセスであることを考慮すれば、個人的には多い方だと考える。その他の課題を解決していけば、更に増えていく可能性があるのでは。

(事務局)

利用者人数も大切ではあるが、クオリティ（満足度）も大切だと考えている。

(委員)

評価については、意見にもあったように数字で計れることと、それが難しい質の部分があり、両方を記載する必要があると思う。施設の利用者数やイベント数や内容については評価できることだと思うので追記してはどうか。あとは、本施設があることによってどれほど自然環境が保全されているか、学びの質が深まっているかというのは参加人数では評価できず、施設がある意義を今回の意見書に必要であれば追記してはどうか。また今後検討していく必要があると思う。社会教育施設としてある意義については、完全に民間へ渡してしまうと、収益について特化していくため、現在のイベント展開とは異なってくるのではないかと感じる。環境保全について、地元などのボランティアへ任せてはどうかという意見も出てくると思うが、集客の面で課題が出てくると思う。この施設がある公益性、社会的な意義としては人づくり、繋がりづくり、地域づくりの拠点としてまた、学校教育と連携することができる。他の社会教育施設と連携しながら自然のことを学べる場として貴重であるということ和社会教育委員の会議として発信していくことが改めて大切であると感じた。

(議長)

多くの意見をいただいているが、時間のため、事務局より今後のスケジュール及び報告事項についてお願いします。意見書については、教育委員会へ報告を予定しており、修正等は、議長及び事務局で調整は図り作成するため、議長への一任について、ご了承いただきたい。

(委員)

異議なし

(事務局)

今後のスケジュールについて報告する。5月から宝塚自然の家指定管理者選定委員会開催し、9月議会で新たな指定管理者を指定する予定。指定管理者が決定したら、本会議でも報告させていただく。なお、皆さまの任期について、7月25日をもって今期は終えることとなる。今期の会議は、今回の会議を持って最後の予定としている。

3 報告事項

(1) 阪神北地区社会教育委員協議会第2回研修会について

日時 令和6年3月8日(金) 14:30～17:00

場所 スワンホール3階 多目的ホール

内容

テーマ「社会教育・生涯学習活動の参加を促すきっかけづくり」

・講演及びワークショップ

講師 大分大学教職大学院 教授 清國 祐二 氏
・伊丹市社会教育委員の会 提言報告

(2) 阪神北地区社会教育委員協議会第4回理事会について

日時 令和6年3月28日(木) 14:30~15:30

場所 伊丹市役所1階 会議室101

内容

- ・令和5年度事業報告(案)について
- ・令和5年度会計報告(案)について
- ・情報交換会

(3) 令和6年度阪神北地区及び兵庫県社会教育委員協議会日程等(予定)について

①阪神北地区社会教育委員協議会

ア 第1回理事会 4月26日(金) 15:00~

イ 総会 5月20日(月) 15:00~

②兵庫県社会教育委員協議会

ア 第1回役員会(R5年度役員) 5月15日(水)

イ 第2回役員会 10月23日(水)

ウ 兵庫県社会教育委員協議会 総会・研修会 6月4日(火)

会場 県民会館けんみんホール

エ 兵庫県社会教育研究大会 11月27日(水)

(西本議長)

それでは、以上をもって、本日の議事を終わらせていただく。